住民主体での生活交通運営と生活満足度の関係性に関する研究

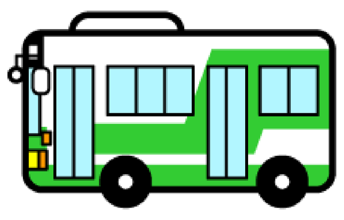
社会システム計画学研究室2017年度卒業研究　恒藤佑輔

研究の背景

少子高齢化の進展する社会

運転が困難に

住民の移動手段確保が課題



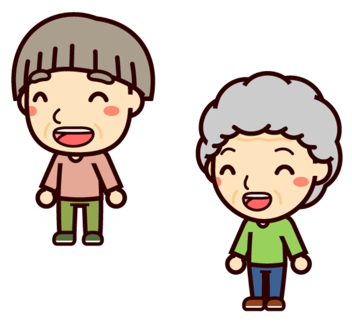
不採算路線の減便・廃止

移動に関して地域コミュニティによる**助け合いの気持ち**が生まれつつある

公共交通がないなら自分たちで走らせよう！

「地域住民が主体となって生活交通を維持する」という選択肢が広まりつつある

- ◆ 経費節減
- ◆ 地域の需要に合った細かい運行調整
- ◆ 地域のコミュニティ活力向上



一方で、住民側は、「運営」や「運行経費負担」を受け持つ
その上で、運営を継続することは住民にとってプラスの面で寄与しているか、は明らかになっていない

研究の目的

既存研究の成果を生かし導入が進んでいる
「住民主体の生活交通」

地域住民主体で生活交通を維持することについて

- ✓住民意識の分析を行う
- ✓地域住民の生活満足度向上に寄与するかを明らかにする

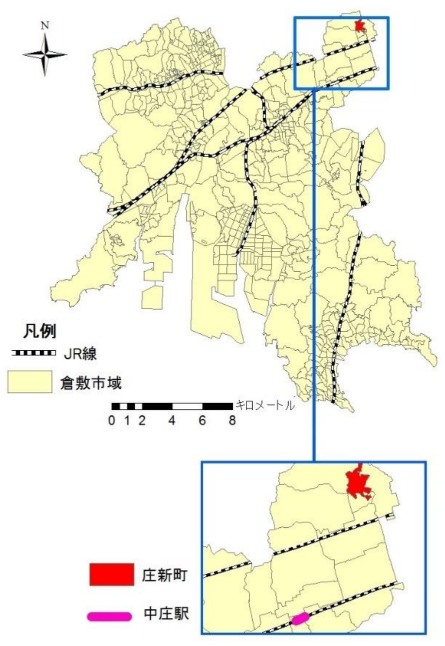
住民主体での生活交通運営を**持続可能なものにする**ために重要

分析対象地域と使用データ

岡山県倉敷市：庄新町地区

1970～1980年代にかけて開発が進んだ住宅団地

調査名	「乗合タクシー」に関するアンケート調査
調査対象者	倉敷市庄新町地区住民
配布・回収方法	ポスティングによる全戸配布・郵送回収
調査時期	2016年12月
配布数	780部
回収部数	375部
回収率	48.0%
主な調査項目	●個人属性 ●「なかよし号」の利用状況 ●「なかよし号」に対する評価 ●個人の移動環境および生活に関する満足度 ●地域とのかかわり方 ●幸福感評価



「なかよし号」(H17年2月運行開始)

- ✓ 庄新町地区―JR中庄駅
- ✓ 1日7往復
- ✓ 1時間前までの予約が必要
- ✓ 運賃：片道400円

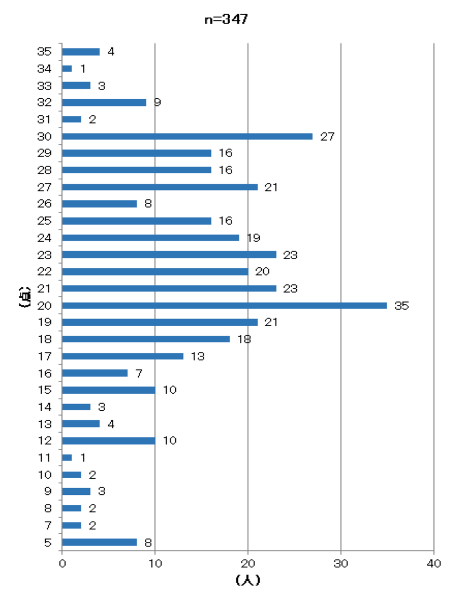
平成17年1月に庄新町からJR中庄駅まで運行されていた中鉄バスが廃止となったため、**地元運営委員会が乗合タクシー「なかよし号」の運営**を開始した

生活満足度評価指標の概要

SWLS尺度※（The Satisfaction With Life Scale）

- ● 各質問に対し「全くあてはまらない：1点」～「非常によく当てはまる：7点」で評価
- ● 高得点であれば幸福度が高い
- ● 各質問7点満点×5問で、得点範囲は5～35点

SWLS集計結果



設問項目

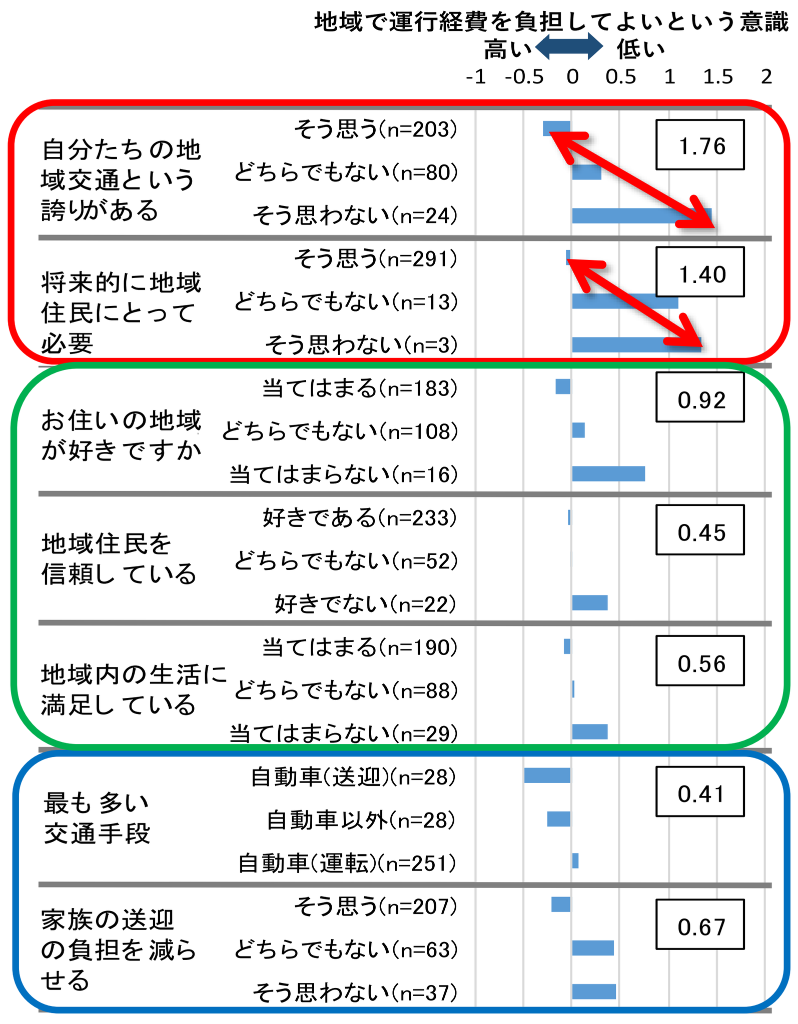
- ・ほとんどの面で，私の人生は私の理想に近い
- ・私の人生は，とてもすばらしい状態だ
- ・私は自分の人生に満足している
- ・私はこれまで，自分の人生に求める大切なものを得てきた
- ・もう一度人生をやり直せるとしても，ほとんど何も変えないだろう

主観的な幸福感として**生活満足度をとらえる**際に適している

※Ed Diener, Robert A. Emmons, Randy J. Larsen and Sharon Griffin as noted in the 1985 article in the *Journal of Personality Assessment*.

分析結果

運行経費負担意識向上に関する要因分析



n=307　相関比0.2973　的中率65.47%		
軸の重心	そう思う	そう思わない
	−0.2756	1.6682

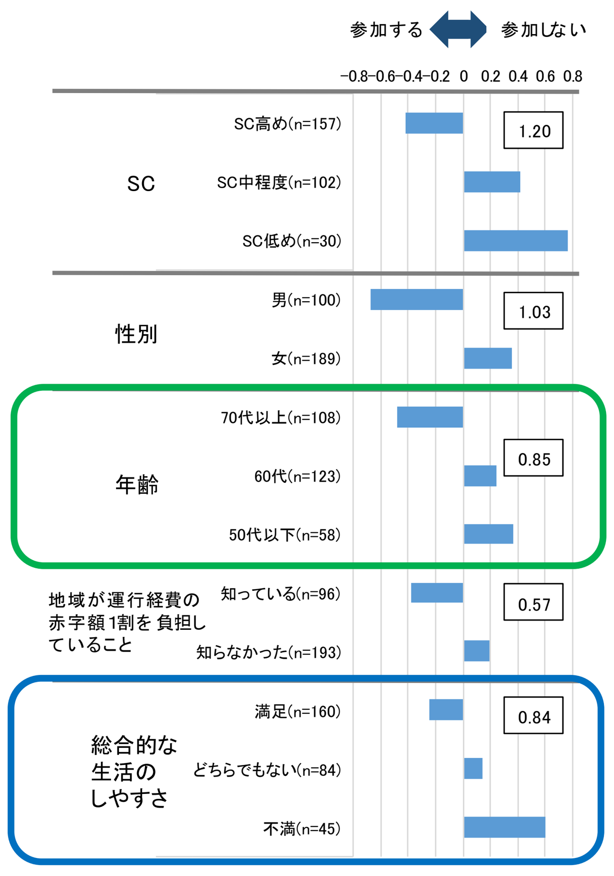
「なかよし号」に対して
- ✓地域交通としての誇り
- ✓住民にとっての必要性

を抱いているかが大きい

- ✓ 地域への態度
- ✓ 自分や家族にとっての移動に対する状況

も重要である

運営活動への参加意向に関する要因分析



n=307　相関比0.1212　的中率66.44%		
軸の重心	参加意向有り・運営関係者	参加意向なし
	−0.6265	0.1928

		P値	判定
地域とのかかわりに関する設問	地域の住民を信頼している	0.0206	＊
	地域内での生活に満足している	0.0238	＊
	地域のボランティアに参加している	0.0000	＊＊
	地域愛着	0.0000	＊＊
	定住意向	0.0000	＊＊
その他	SWLS得点	0.0057	＊＊
	総合的な生活のしやすさ	0.0089	＊＊
	なかよし号のサービスに対する満足度	0.0164	＊
	年齢	0.0024	＊＊

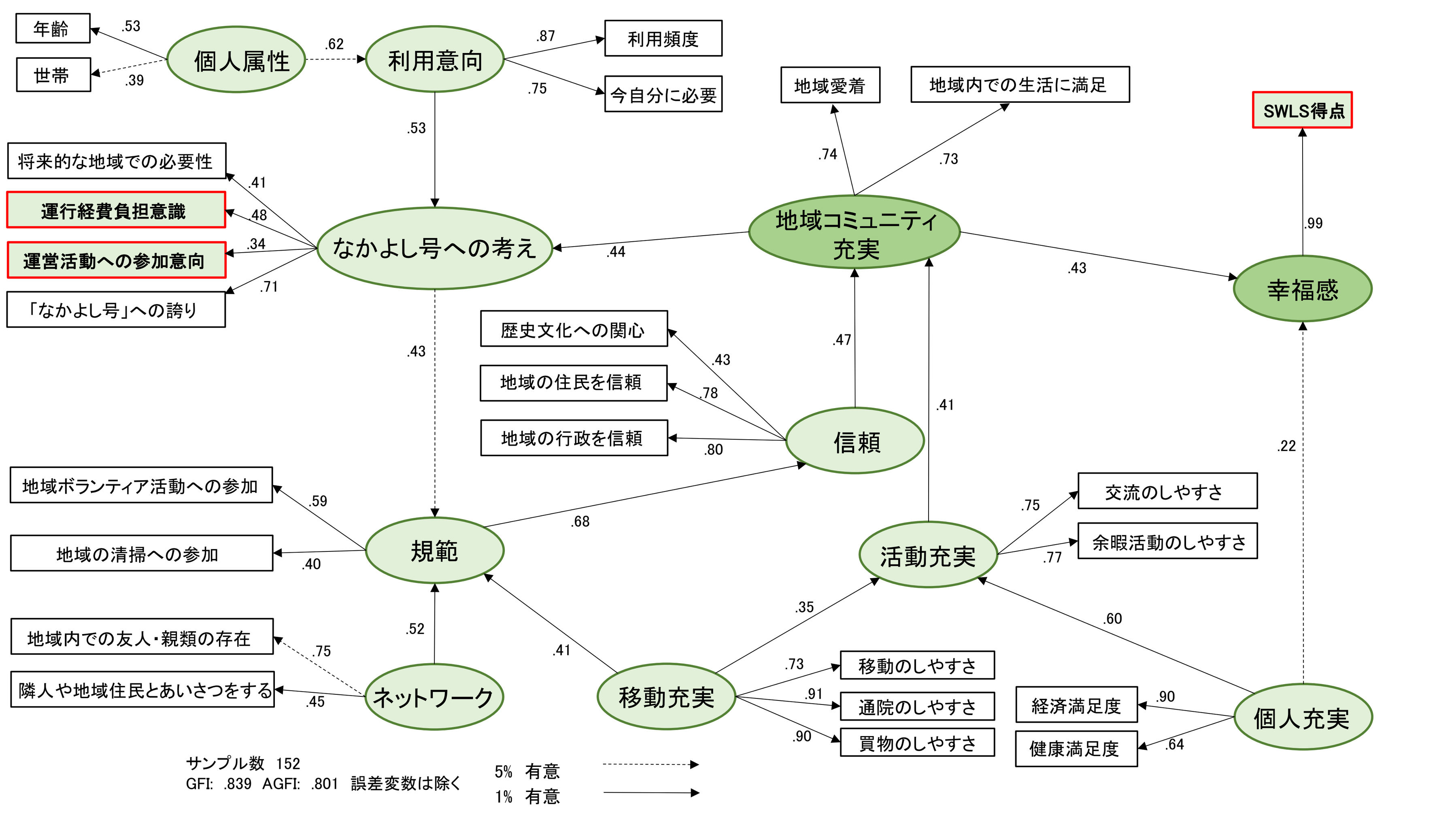
独立性の検定　＊＊：P値<0.01　＊：P値<0.05

ソーシャルキャピタルに関係する項目や、**地域愛着**、**定住意向**との関連性が強い

若年になるほど
参加意向が低い

自分の生活のしやすさに満足しているほど
参加意向が高い

「住民主体での生活交通運営」と「住民の意識」の関係



「ソーシャルキャピタル」→「地域コミュニティ充実」→「幸福感」
「地域コミュニティ充実」→「住民主体の生活交通運営」→「ソーシャルキャピタル」

結論

- ✓地域で運営している生活交通への**必要性を感じる**、もしくは**地域生活への満足度が高い**ほど、運行経費負担意識は高まる
- ✓**若年になるほど運営活動への参加意向が下がっている**

住民主体で生活交通を運営することについて

➡ 直接幸福感とは結びつかない

➡ SCと関連することで、地域での生活を充実させ、**生活満足度の向上に寄与する**ことを明らかにした